

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
十和田市中心市街地地区

令和7年3月

青森県十和田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	4,651	5,604	3,475	確定 ●	×	あり	4,368	R6年8月	△	新型コロナウイルス禍で落ち込んでいた観光客が回復し増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	前年度と比較すると、全体では目標値には届かなかったが、2日目だけを見ると5,906人と目標値に達し中心市街地で通行量も増加しており、地域交流センターやまちなか交通広場を拠点に歩行者の回遊が図られた。
指標2	空き地・空き店舗数	箇所	52	39	50	確定 ●	△	あり	54	R7年2月	×	予想以上に空き地が増加した。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空地は増えたが、創業支援空き店舗等活用事業のほか、まちづくり会社で空き店舗の情報を発信し、空き店舗の減少につながった。
指標3						確定 ●		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 ●		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ●		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 ●				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 ●				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 ●				R 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地域交流センターの利用促進	施設の見学会を開催し、市民の方や団体等に使い方について周知した。夏にはバルーン噴水や、冬季にはイルミネーションを設置するなど、立ち寄りやすい環境づくりに取り組んだ。	年代やニーズを捕捉できたほか、利用方法を周知でき、施設利用の促進につながった。	引き続き利用促進に取り組む。
	市街地循環バス等の運行	市街地での回遊性や郊外から市街地へのアクセスを向上するため、市街地循環バス等を運行し、市民生活の利便性向上、中心市街地での賑わい創出を図る。	中心市街地における新たな交通拠点整備との相乗効果により、バスの利用者も年々増加しており、特に当該施設での乗降者数が最も多い。	中心市街地での賑わい創出のため、今後も継続して運行する必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩行者の回遊性の維持及び向上	現代美術館からの回遊を促すため、地域交流センターを利用し、美術館の企画展のほか、作家によるアーティストトークが行われ、イベント等も開催された。	まちなか交通広場、地域交流センターや休憩スペース等により、回遊性と魅力向上が図られた。	集客力あるイベント開催による恒常的な賑わい創出が課題である。
	空き店舗の更なる解消	創業支援空き店舗等活用事業(商店街区は嵩上げ)したほか、商業セミナー、創業相談ルームを開設して伴走支援を行った。	空き店舗を活用して本屋等が開業するなど、商店街区に令和元年～令和6年度までに4件の創業が図られ、空き店舗の解消に寄与した。	空き家バンクへの登録や情報提供により空き店舗の有効活用を促進する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項